

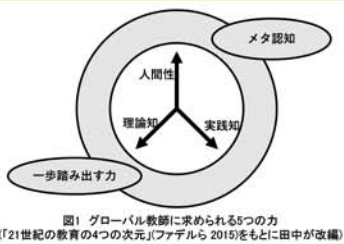
# グローバル教師育成カリキュラム開発 -連合教職大学院- ～フィリピンの国際NGO GKFarmでのフィールドワークと授業実践から検証する～

## 背景

**現状**  
2030年を生きる子どもたちは何を学ぶべきなのか、教師は何を教えるべきなのかを探る必要性がある。

**課題**  
そのような学びを組み込んだ教員養成カリキュラムがまだない。

**カリキュラムの作成が必要！**



## 研究仮説

・Fadel (2015) が提唱する「**教育の4つの次元**」と Dweck (2016) が提唱する「**マインドセット**」を基盤とすることで、21世紀を生きるために必要な資質を備えた子どもを育成できる教員を養成できるのではないかと仮定する。

## 研究目的

・教職大学院でマインドセットに着目した**グローバル教師育成カリキュラム**を作成する。  
・Ambitious Target Treeを用いた授業実践でのワークシートを分析し、**貧困問題を克服しようとするマインドセットについて考察**する。

## 事前学習

現地での実践へ向けて

### 英語強化レッスン

本学のランゲージチャットルームの講師である James Devin 先生と高田恵子先生協力ののもと、プログラム参加者の英語運用能力向上を図った。



実施目的	・実際に英語を使うことに慣れるため ・現地での対話や授業実践におけるやり取りを円滑にするため
受講概要	・グループブレス90分×4回
実施内容	・自己紹介をしよう / Classroom Englishに慣れよう ・英文にイントネーションをつけよう ・インタビューにおいて、より相手から聞き出せる質問を考えよう ・授業実践(模擬) など

### ミーティング

マインドセットに関する本の読書会やフィリピンについての勉強会、現地での授業設計などを、院生と教授で行った。(全10回 各3時間程度)



各章の担当者がその章の講義を行い、マインドセットに関する理解を深めた。  
例) マインドセットを「しなやかにするには?」  
・教育とマインドセット

フィリピンの状況

国内総生産(2019)	3,889	1,206	3,848
国内総生産(2020)	3,179	1,813	6,979

## GKの組織と社会企業

**GKとは**  
GKEFを運営する国際NGOである。Gawad Kalingaの略称で、英語のTake careを意味する。起業家の育成を目的に教育活動を展開している。

**GKのミッション**  
2024年までに、フィリピンの500万世帯の貧困を終わらせる。

**SEED**  
・農業や革新的な事業を通して、貧困に立ち向かう学生の育成  
・起業家としてフィリピンブランドの創設  
・理論と実践を融合した教育課程

**Social Enterprise**  
・GKEF内での事業展開活動  
例) Eri Silk (絹製品)  
VERMI Composting (有機肥料)



## PALETTE

「どうせできない」をなくす国際協力NPO

- ・若者の就労支援  
→ ロールモデル育成プロジェクト
- ・GKEF内のPALETTE SCHOOL (日本人若者向け語学学校)の運営



- ・ロールモデルの輩出
- ・ライフスキルも身に付けさせる



## 現地での活動

### 英語レッスン

・PALETTEが行っている人材育成プロジェクトにおいてジョブトレーニングを受けたフィリピン出身の英語教師が講師を務める(ロールモデル育成の一環)  
・一部の講師はSEED内の語学科目の授業も担当している。



1コマ40分	スケジュール(一例)
① 発音	
② リーディング	
③ グループブレス	

### スタディツアー

① **NPO HALOHALO 訪問**  
特定非営利活動法人HALOHALOでは、世界中の誰もが魅力的に働き生きることのできる社会の実現に向けてマニラやセブを中心に活動を行っている。「教育」「啓発」「生活支援」の三つを活動の柱としている。



② **社会起業家デモ参加**

- ・Eri silk(絹製品) 蚕の飼育、糸の生成、織物を行っている。
- ・VERMI Composting(有機肥料を作るデモ) ミミズを用いて、生ごみや野菜を再利用し肥料にすることで、ごみを減らすことができると考え設立された。フィリピンで持続可能な起業を追求している。



### インタビュー(パヤタス地区)

**目的**  
フィリピンのパヤタス地区の家庭をインタビュー対象とし、生活の様子やパヤタスの貧困問題についてインタビューから考察する。

#### 事前学習(インタビュー項目)

- 事前に構成したインタビュー項目は以下の6点である。
- ①1日の流れは?
  - ②楽しいと思うことは?
  - ③困っていることは?
  - ④大切なこと(人、物)は?
  - ⑤あなたの夢は?
  - ⑥もしも自由な日があるなら何したい?

#### パヤタス地区でのインタビュー(一部抜粋)

対象: 女性(シングルマザー、5人の子どもがいる)

Q: あなたにとって大切なものは何ですか?  
A: 子どもたち。また、子どもたちを学校に通わせることで卒業させること。

Q: 子どもたちにさせてあげたいことは何ですか?  
A: 大学まで通わせること。

Q: 大学まで通わせるのに生まれる障害は何ですか?  
A: お金の問題。

Q: 子どもたちは一日どのように過ごしていますか?  
A: 午前中に学校に通って、遊んだり、母親が勉強を教えている。

Q: 子育てをしていて、楽しいことと苦しいことはありますか?  
A: 学校に通わせることとご飯を作ることは大変だが、子どもが順調に育っていることがうれしい。

母親は子どもを大学まで通わせたいと考えているが、**金銭の問題がネック**になっている。  
質問をする中で**子どもを大切にしている**ということを感じた。

### 授業実践(SEED/高校)

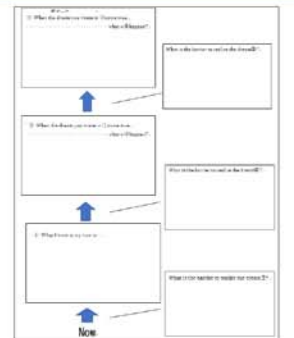
#### Ambitious Target Tree

**本時の目標**  
図式を用いて、自分の将来の姿を明確に、構造的に捉える

#### Ambitious Target Tree

**目標を実現する道筋を見つける道具**

＜手順1＞目標を書く。  
＜手順2＞目標の達成を阻む障害を考える。  
…本時ではここまで  
＜手順3＞挙げられた障害の数々を使って、中間目標を考える。  
＜手順4＞中間目標達成のための行動を考える。  
＜手順5＞中間目標達成の順序を考える。



SEED	高校	共通
SEEDの生徒の回答では、「 <b>起業したい</b> 」や「 <b>病院</b> 」などといった回答が多く見られた。それらを通じて「 <b>貧困問題</b> を解決したい」という回答が見られた。また、「 <b>旅行</b> を通じて「知識を広げたい」といった回答も見られた。これらから、高校の生徒の回答では夢が多岐にわたる傾向がみられ、 <b>地元志向</b> の考えが多かったといえる。	高校の生徒の回答では、「 <b>レストラン</b> 」や「 <b>スタジオ</b> 」などを「 <b>建てたい</b> 」というものが見られ、それらを通じて「 <b>学校を建てたい</b> 」と示したことも影響の1つではないかと考察される。また、「 <b>旅行</b> を通じて「知識を広げたい」といった回答も見られた。これらから、高校の生徒の回答では夢が多岐にわたる傾向がみられ、 <b>地元志向</b> の考えが多かったといえる。	SEEDと高校の生徒の共通点として、「 <b>建てたい</b> 」といった回答が多く見られた。このことは、「 <b>活動モデル</b> 」として授業者が「 <b>学校を建てたい</b> 」と示したことも影響の1つではないかと考察される。また、「 <b>夢</b> 」や「 <b>バリア</b> 」の両面で「 <b>お金</b> 」や「 <b>貧困</b> 」といったワードが多く見られ、夢を叶えていくための障害として考えられているのが明らかとなった。

**生徒の授業の感想(一部)**  
自分の夢を、その実現過程で起こるバリアとともに考えることで、より明確に捉えられた。他人の夢を知ることができて嬉しかった。/初めて日本人に会ったけど、優しくよかった。

## 5つのグローバル教師育成プロセス像

- ①グローバル社会とコミュニティの展望を掴み、**自分意識**を持つ
- ②文献を批判的に読み、**創造的課題解決能力**を持つ
- ③異文化・異専門を超えて**連携**し、新しい価値を共に創り実行する
- ④やり抜いた経験から、**達成へのメンタリティ**を持つ
- ⑤メタ認知と省察をもとに**理論と実践を往還**する

## グローバル教師育成カリキュラム案

STEP1	・変革期をリードするグローバルスクール・リーダーとして理論知と実践知を獲得するための基盤をつくる。 ・所属校での自分の役割意識を高める。
STEP2	・ <b>グローバルプログラム</b> を自ら創成し、 <b>異文化理解プログラム</b> と <b>グローバル教育</b> を牽引する教師としての <b>資質</b> や <b>スキル</b> を身に付ける。
STEP3	・ <b>アジア</b> や <b>日本</b> の持続可能な発展に貢献できる <b>グローバル人材</b> を育成する <b>グローバルマインド育成プログラム</b> を企画・運営できるようになる。